

第4回 小中学校の望ましいあり方検討委員会

日時 平成18年10月31日 午後7時から9時

場所 教育会館

事務局説明

児童・生徒数の今後の推移について

小・中学校に関するアンケートの内容について

小・中学校の統廃合について 各委員からの意見

- ・ 望ましいあり方検討委員会が統廃合ありきで話が進められているが現状維持も考えられないか、統合が必要なら将来を見据えて小・中1校ずつが良い。
- ・ 複式学級の解消のための統廃合ではどうか、小学校は地域にとって大事な存在であり残して欲しい。
- ・ 将来勝山市が単独市として残っていくのかも踏まえて広域で考えるべきでないか。
- ・ 小学校は地域との繋がりが大きいので残して欲しい。中学校は統合して欲しい。
- ・ 子どもが減少する中で統合を考える必要がある。
- ・ 将来を見据えた統廃合が理想的で、統廃合は仕方がないが、統合されていく地域の切実な意見を聞いてあげて欲しい。
- ・ 複式学級の解消をすることで話し合われてきたが、統廃合はまだ早いのではないか。
- ・ 施設の耐用年数はまだまだある。将来の統廃合に向けてのビジョンを立てる必要がある。
- ・ 複式であっても授業はできるが、部活や合唱などで支障が出ている。統廃合にあたっては地域の方と子どもの人数が何人になったら統廃合するかということで理解を得ておく必要がある。
- ・ 新しい学校を建設するのは財政上無理なので、3案での統廃合が良い。
- ・ 将来子どもの減少で統廃合はやむを得ないが、統廃合には勝山市全体的に痛み分けが必要である。
- ・ 地元の活性化を考えると地域に残して欲しい。
- ・ 子どもが少なくても負けない教育に自信があるのか、子どもと地域との繋がりがどうであるのか、専門家で話し合って欲しい。
- ・ 統合は3案を踏まえた上で、また、細野分校の統合は早くしてはどうか。

まとめ

委員会としては、これまでの検討委員のご意見を基に、市の全体計画(案)を3案という形で取りまとめます。また、地域の理解が得られなければ進められないこと、計画案であっても実施計画ではないということを盛り込みたい。次回はその報告書を審議することで提案させていただきます。